

次世代化学材料評価技術研究組合（略称：CEREBA）の概要

- 設立年月日：平成23年3月8日
- 理事長：富澤 龍一（三菱ケミカル(株) 特別顧問）
- 組合員：(株)カネカ、J S R (株)、J N C (株)、積水化学工業(株)、東レ(株)
三菱ケミカル(株)、(国研)産業技術総合研究所（6企業、1 独法）
- 事業費：29年度 5.1億円
- 事業の概要：次世代化学材料評価基盤技術開発

○組合設立の目的

1. 評価技術の開発・共有化を通じた、セツメーカーと素材側の化学企業との間の擦り合わせの期間の短縮
2. 高額な試作設備や評価設備の重複投資の排除
3. 評価技術の開発・共有化を得られたデータを基に国際標準化にも貢献することを目的とします。

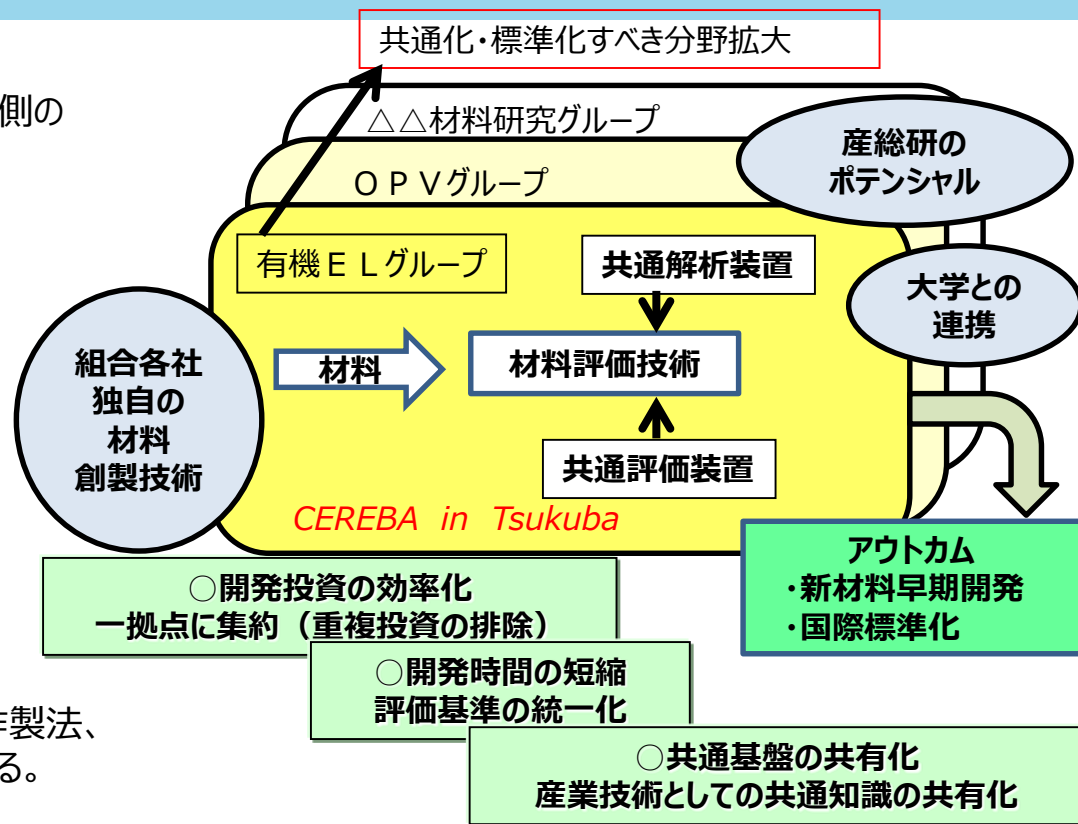
○実用化の方向性

現在は有機EL及び有機薄膜太陽電池材料を対象に次の項目について評価技術の開発を行います。

- ① 評価用素子設計作製方法
- ② 素子材料評価技術
- ③ 劣化機構等評価解析
- ④ 国際標準化への寄与

○事業化の目途の時期

プロジェクト開始後、5年を目途に各種基準素子の作製法、標準評価法、特に寿命評価を劣化解析を加え確立する。



● 研究開発体制

次世代化学材料評価技術研究組合 (CEREBA)

研究部
理事・研究部長 富安

有機ELGr

有機ELGr・GM 茨木
(棚村、山成GM代理、木村GM補佐)

GrC
茨木GL

高効率解析

GrA
大畑GL

ガラス素子
作製&評価

GrB
杉本GL

フレキ素子
作製&評価

GrF
山成GL

大型省エネNEDO
対応

GrJ
鈴木GL

感性評価

OPVGr

OPVGr・GM 荒牧
(黒田、山成GM代理、芳山GM補佐)

GrD
山成GL

フレキバルクヘ
テロ基準素子

GrE
荒牧GL(兼)

ペロブスカイト基
準素子

共同
研究

山形大学
金沢工業大学
九州先端科学技術研究所
北陸先端科学技術大学院大学

共同
実施

山形大学
九州大学
九州先端科学技術研究所
京都大学
稲田大学